

vivoとvitroの対話 ~新規試験法のこれから目指すところを考える~

2025年5月8日(木)、9日(金)

会場:湘南アイパーク・講堂(オンサイト開催のみ)

学術年会長:石田 誠一(崇城大学)

学術年会特別委員長:木内 祐二(昭和大学)

ープログラム概要 ー

特別講演

特別講演は海外から2名の研究者をご招待し、講演をしていただきます。In vivo、in vitro 両方の視点から「これからの新規試験法がどのようにお互いを補完しつつ進むべきか」について問題提起と現状の報告をお願いする予定です。 【演者】

Lindsay Tomlinson DVM, DVSc, DACVP
 (Anatomic and Clinical Pathology), DABT
 Global Pathology Scientific and Strategic
 Advisor, Drug Safety R&D, Pfizer Inc.

Translational Considerations for Complex *in vitro* **Models**

Young-Jae CHO MD, Ph.D,
 Division of Pulmonary and Critical Care Medicine,
 Seoul National University Bundang Hospital

Translational Research Bridging Human and Animal in Respiratory Diseases and Inhalation Toxicology





シンポジウム

1. In vitro から見た新規試験法

座長:奈良岡準(アステラス製菓株式会社)、平林英樹(株式会社ティー・エヌ・テクノス)

<敬称略。 演者、 演題ならびに講演順は変更になる場合がございます>

- ヒト血液脳関門 in vivo vs microfluidics:物流システムの解明から中枢モダリティ操薬への応用展開立川 正憲(徳島大学)
- 創薬スクリーニングのこれまでとこれから ~次の発見を目指した実験効率化の取り組み~須山 英悟(中外製薬株式会社)
- ニューモダリティ創薬の安全性評価における In vitro 試験の応用

小森久和(武田薬品工業株式会社)

NAMs から見た in vivo との接点 奈良岡 準(アステラス製薬株式会社)

2. In vivo から見た新規試験法

座長:小川久美子(国立医薬品食品衛生研究所)、中井大介(第一三共株式会社)

● 新規試験法としての呼吸器オルガノイドへの期待と現状

山本佑樹(HiLung 株式会社)

抗甲状腺物質の in vivo 評価法開発および in vitro 系との比較

豊田 武士 (国立医薬品食品衛生研究所病理部)

- * キメラマウス由来ヒト肝細胞 (PXB-cells) の培養から見える新たな可能性と課題について 石田 雄二 (フェニックスバイオ株式会社)
- In vivo, in vitro 試験法の可能性と限界

山近 伸一郎(第一三共株式会社)

セツション

1. 新規試験法関連製品の紹介

座長:楠原洋之(東京大学大学院)、古水雄志(崇城大学) このセッションでは、国内で新規試験法開発に取り組む企業の方から、 製品等の紹介を予定しています。サプライヤー、ユーザー間で最新の 情報の交換ができる場を提供いたします。製品だけでなく、解析サー ビスの紹介など幅広く、参観者に情報が行き渡ることを期待します。 ぜひ、わが社の製品、サービスを知ってもらいたい、という会社にお かれましては、手を挙げていただければと思います。

> 最新情報は、右のQRコードから 特設サイトにてご確認ください。





<参加登録費>

事前参加申込期限:2025年4月21日(月)

※ 賛助枠一口につき 1 名様適応。それ以外は非会員扱いとなります。 ※※ 協賛・後援団体の所属員を予定しております。

<お問い合わせ・お申込み先> 特定非営利活動法人 HAB 研究機構

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

市川総合病院角膜センター内 TEL 047-329-3563 FAX 047-329-3565

E-mail secretariat@hab.or.jp URL https://www.hab.or.jp



(要旨集を含む)

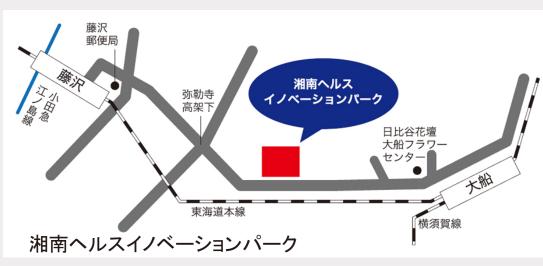
HAB 研究機構正会員: 10,000 円 (事前 8,000 円) ※ 賛助会員: 10,000 円 (事前 8,000 円) 非会員: 15,000 円 (事前 13,000 円)

> 学 生: 8,000 円 (事前 6,000 円) 【 懇親会: 8,000 円 (事前 6,000 円)】

【 懇親会:8,000 円 (事前 6,000 円)】 (※ 関連学会会員:12,000 円 (事前 10,000 円)

2. 国際 MPS 学会 アジアーパシフィック分科会の活動紹介

座長:山崎 大樹(国立医薬品食品衛生研究所)、石田 誠一(崇城大学) 2022年に発足した国際 MPS 学会の活動の一つに、南北アメリカ、欧州ーアフリカ、アジアーパシフィックの各地域分科会での交流を深めるというものがあります(https://impss.org/asia-pacific-regional-chapter/)。それに基づき、2024年11月にアジアーパシフィックがスタートしました。ここでは、そこに参加する各国の取りまとめ役の研究者から、MPS の利活用や開発の状況について報告をしてもらい、アジアーパシフィック地域でのMPS の社会実装に向けた取り組みについて理解を深めたいと思います。なお、このセッションはオンラインもしくはビデオでの講演を予定しています。



- ・「大船」駅 (JR 東海道本線 / JR 横須賀線)より、 バス (約 20 分) タクシー (約 10 分) 徒歩 (約 35
- バス(約20分)、タクシー(約10分)、徒歩(約35分) ・「藤沢」駅(JR東海道本線/小田急江ノ島線)より、 バス(約15分)、 タクシー(約15分)、徒歩(約30分)
 - ◆より詳しい案内は、「湘南アイパーク HP」をご覧ください。
 - ~ お越しの際は公共交通機関をご利用ください ~